

秋空に映えるすすきの穂波 いわきざん 大阪・岩湧山登山

すごい数のシュウカイドウ

10月30日、晴。同行者の車で出発。岩湧の森駐車場から9時登山開始。至る所にシュウカイドウの群落。花はすでに終わっているが左右非対称のハート形の大きな葉を茂らせている。中国原産のこの花が日本に入ってきたのは江戸時代。中国名の秋海棠がそのまま和名に。日本人に愛され、全国各地で野生化も。二上山

山中でも散見されるが、ここ岩湧寺周辺はその代表格、すごい数だ。それに混じるようにアキチョウジその他の秋の花が咲いている。

サワグルミのそばの展望デッキ

9時30分四季彩館着、館は閉まっているがトイレをお借りし、身支度を整えて再出発。森林の中の登

山道は時折、階段や急坂を織り交ぜながら、ひたすら登っている。路傍でキッコウハグマがか細い花を開いて、“晩秋の気配”を漂わせている。

10時20分展望デッキ着。そばにサワグルミの大木が2本突っ立っている。大阪平野南部の展望を楽しむ。

ダイヤモンドトレールー明るい尾根道

さらに登って11時30分縦走路・ダイヤモンドトレールと合流。ミヤマシキミの艶やかな葉と真紅の実が目を行っている。

銀色にかがやくススキの原

間もなくススキにおおわれた山頂部の

登りにかかる。一面ススキが生い茂り、青い空に映えている。そしてそのススキの合間、合間に、リンドウ、アキノキリンソウ、アザミ、ハバヤマボクチ、センブリ、シラヤマギクなどの花が顔をの

ぞかせており、それらを探しながら歩くのも楽しい。



↑ミヤマシキミの実と葉



↑キッコウハグマ



↑アキチョウジ



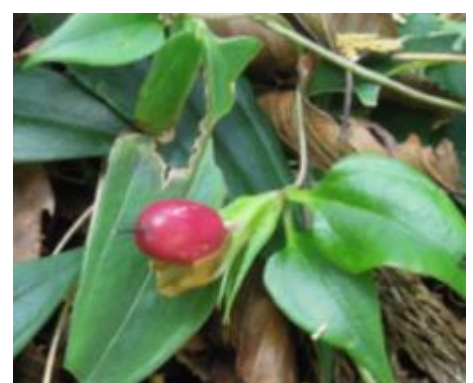
↓リンドウ

眺望絶佳の岩湧山山頂

11時50分山頂広場到着。標高897.1m。新・日本100名山。

温かい日差しを浴びながら何組もの登山者達が弁当を広げている。

背伸びをすれば、ススキの穂波越しに大阪平野の市街地、丘陵や森、その周



↓ツルリンドウの実



圏に六甲、北摂、金剛・葛城の山並みが一望される。

12時20分下山開始、往路を辿って、14時30分駐車場帰着。

この時期にしか出会えない花や実、高い空とその下での眺望とススキ。秋を満喫した山行だった。

「ゆっくり登山」

に付き合っていたいただいたお二人に篤く感謝。



↑ハバヤマボクチ(葉場山火口)

キク科ヤマボクチ属

「葉場山」は「草刈り場の山」の意。

「火口(ほくち)」は起こした火を着火させる物。

この植物の葉の裏に生える綿毛を集めて使用したそうだ。

健生会友の会 第17回サークル発表交流会

10月26日さざんかホール

熱唱する尾崎元枝さん→



↑新舞踊の松尾トミ子、四元堪子両氏→

